

令和5年度 歴史総合シラバス

教科	地歴	科目	歴史総合	学年	1	単位数	2	教材名	【教科書】 詳述歴史総合 (実教出版)
									【副教材】
									徹底整理演習ノート(実教出版) 明解歴史総合図説シンフォニア(帝国書院)

1.学習目標

社会的な事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追求したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。

2.年間計画

期	月	大項目 (編)	学習項目	本時の問い	時間
1 学期	4 月	歴史の扉	(1)歴史と私たち 歴史の特質と資料 代化への問い	(2) (1)現代の私たちの生活様式はいつから始まったのだろうか。 (3)近 (2)提示資料から自分の疑問を文章で表してみよう	3
	5 月		1 近代化への胎動	(1)アジアやアメリカ大陸との貿易を通じて、ヨーロッパにどのような変化が生まれたのだろうか。 (2)清の支配体制と朝貢貿易は周辺諸国へ何をもたらしたか。 (3)平和な時代にはどのような秩序が求められどのような発展がみられたのだろうか。 (4)18世紀以前のヨーロッパとアジアは、経済や文化の面でどのような関係だったのだろうか。	4
	6 月		2 欧米の市民革命と国民国家の形成	(1)産業革命はなぜイギリスではじまり、どのように展開したのだろうか。 (2)アメリカはなぜ、独立をめざしたのだろうか。 (3)フランス革命後のヨーロッパの政治体制は、どう変化していったのだろうか。 (4)19C後半のイギリスやフランスでは、政治や経済でどのような改革の動きが見られたのだろうか。 (5)イタリアとドイツの統一は、どのような過程をたどって達成されたのだろうか。 (6)ロシアの南下政策に対して、ヨーロッパ諸国はどのような対応をとったのだろうか。 (7)領土拡大の過程で、アメリカ合衆国ではどのような問題が生じたのだろうか。 (8)アジアとヨーロッパの経済格差はいつごろ生じたのだろうか。	8

第一編 近代化と私たち	7月	3 アジア変容と日本の近代化	(1)イスラーム世界はヨーロッパ諸国の進出にどう対応したのだろうか。(2)ヨーロッパ諸国は南アジア・東南アジアにどのように進出したのだろうか。(3)欧米諸国はなぜ中国の開港を求め、中国はどうか。(4)幕府は外国船の接近にどうか。(5)開国は日本の社会にどのような影響を与えたのだろうか。(6)条約締結をめぐる外交方針は、政治にどんな影響を与えたのだろうか。(7)明治新政府の改革のねらいは何だったのだろうか。(8)新政府は、どのような目的で徴兵制や殖産興業政策、文明開化をおすすめたのだろうか。(9)現在の日本のかたちはどのようにつくられたのだろうか。(10)士族から農民に広がった自由民権運動は、どのように展開したのだろうか。(11)大日本帝国憲法によって、どのような国家がめざされたのだろうか。(12)日本とイギリスやドイツの議会制度や政治体制と比較しながら自分の考えをまとめよう。	11
	9月	4 帝国主義の時代	(1)欧米諸国の帝国主義によって、世界はどのように分割されたのだろうか。(2)19C後半から20Cはじめにかけて、欧米諸国の社会ではどのような変化がおこったのだろうか。(3)条約改正をめぐる動きはどのように展開したのだろうか。(4)日清戦争はどのように始まり、どのように展開したのだろうか。(5)東アジアにおける日露の対立は、何をもたらしたのだろうか。(6)産業革命によって、日本の経済と社会はどのように変わったのだろうか。(7)20Cはじめにアジア各地でおこった運動の共通点やちがいは何だろうか。	7
	2学期	まとめ	産業革命が人々に与えた影響とこれからの課題について考えてみよう。	2
第二編 国際秩序の	10月	5 第一次世界大戦と大衆社会	(1)ドイツ帝国皇帝ウィルヘルム二世はどう評価すべきか？(2)どうすれば第一次世界大戦は回避できた？(3)共産主義とは？(4)大正デモクラシーとは？(5)ワシントン体制と沖繩戦の関係とは？(6)各地域の民族運動の特色は？(7)金本位制はどう評価すべきか？(8)治安維持法はどう評価すべきか？(9)憲政の常道とは何か？	10

	11月	変化や大衆化と私たち	6 経済危機と第二次世界大戦	(1)世界恐慌と第二次世界大戦の関係は？ (2) ドイツ国民はなぜヒトラーに投票したのか？ (3) どうすれば軍部の台頭は回避できたか？ (4)近衛文麿首相はどう評価すべきか？ (5)日本はなぜ宣戦布告をしたのか？ (6)日本のアジア支配の特色は？ (7)戦争はいつどのようにして終結したのか？ (8)自由貿易体制がなぜ戦争の防止につながるのか？ (9)6年8か月の占領はどのようなものだったのか？ (10)戦前と戦後では何がどのように変わったか？ (11)冷戦とは何か？ (12)朝鮮戦争の原因と日本への影響とは？	12	
	12月					
3学期	1月	第三編 グローバル化と私たち	7 冷戦と脱植民地化	(1)ソ連とアメリカのねらいは何だったのか？ (2) 第三世界とは？ (3)ベトナム戦争を経て米ソの外交姿勢はどのように変化したのか？ (4)日ソ共同宣言が出された背景と高度経済成長の要因とは？	4	
	2月		8 多極化する世界	(1)石油危機と原因と影響とは？ (2) ソ連が米国に妥協したのはなぜか？ (3) ヨーロッパとアジアの地域協力の内容は？ (4)日本はどのようにして経済大国になれたのか？		4
	3月		9 グローバル化と現代世界	(1)冷戦はなぜ終結できたのか？ (2)21世紀の世界はどのようなものか？ (3)世界は今、どのような課題に直面しているか？ (4)第二次世界大戦後の世界の諸課題とは？		

3.評価の観点及び趣旨

観点	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界と其中的の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに注目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追求、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

4.評価の方法及び評価資料

- 日々の授業やノートのみと、宿題・課題の取り組み状況
- 中間・期末などの定期考査や単元のみととして行われる単元テスト
- 夏休みや冬休みなどの長期休業中の課題
- 課題追求学習におけるレポートや発表
- 新聞の活用・図書館での資料（歴史書や写真集など）の活用

これらを学習過程ごとに設定された学習到達目標に照らし合わせて総合的に判断し、評価を進める予定。